



じつきょう

商業教育資料 No. 102 通巻390号

観光教育の意義と展望

—全国高等学校観光教育研究大会をとおして—

佐賀県立嬉野高等学校長
峰松 藤一郎

1 はじめに

政府観光局は2015年11月に、1月から10月の訪日外国人旅行者数が、推計1631万6900人となったことを発表しました。過去最高だった昨年の年間記録を290万人上回り、2015年通年では1900万人に達する見通しだといっています。また、2020年には東京オリンピック、パラリンピックが誘致され、観光立国日本の振興が急ピッチで進んでいます。まさに観光に携わるものにとって追い風になっています。

2015年7月30、31日の両日、第20回全国高等学校観光教育研究大会が佐賀県嬉野市のホテルで開催されました。主管校である嬉野高校をはじめ、観光教育に取り組む全国の高校や県内の商業高校、大学や観光産業、そして嬉野市、鹿島市から約100名が参加しました。今大会のテーマを「魅力ある観光教育の在り方～地域と協働し、産学官で紡ぐおもてなし」として、観光教育は今後どうあるべきかについて討議しました。

今大会を振り返ることで、高等学校の観光教育の現状と課題、これからの展望を明らかにし、今大会では通常の研究大会とは全く異なる形式を取り入れ好評だった「ワールドカフェ方式によるパネルディスカッション・対話会」について述べさせてもらいます。

2 全国高等学校観光教育研究大会について

大会を主催する全国高等学校観光教育研究協議会は、全国の高等学校における観光教育の充実と発展を図り、会員相互の研修を深めることを目的に組織されています。今大会の目的は、観光に関する学科・コースを設置している全国の高等学校が相互の交流を深め、今後の観光教育のあり方を総合的に研究し、魅力ある充実した観光教育の推進を図ることにあります。会員校は北海道から沖縄まで19校、個人会員5名の小さな団体で、各年度の主管校を決めるのにも大変な労力を要しています。今大会を開催するにあたって県内商業高校の先生方には大変お世話になりました。

も く じ

観光教育の意義と展望	1	高校生が創り運営する オンラインショッピングモールまなびや	14
職業人育成のためのアクティブラーニング	6	NHK 高校講座 「ビジネス基礎」・「簿記」のご案内	18
プログラミング教育の可能性	10		

3 佐賀県立嬉野高校について

主管校を務めることとなった本校は、総合学科に改編して2015年で15年になります。観光教育は観光・流通系列2年生20名、3年生18名を商業科の職員4名で指導しています。商業科目として「商品開発」「広告と販売促進」、商業科の学校設定科目として「観光一般」「観光地理」「観光ビジネス実践」の授業を展開し、旅行業務や観光地理、郷土愛を育むための郷土研究を実践しています。また、キャリア教育の一環として、地域に密着し地域との連携を図るために地域イベント実習や校外体験学習を行っています。今年の「国内旅行業務取扱管理者試験」には本校生徒5名が合格することができました。本校の課題は、指導者を養成し、指導に応じた生徒たちの進路先の確保です。

本大会は本校の商業科の職員と、観光・流通系列の生徒を中心に運営しましたが、静岡県や佐賀県内の商業高校生が運営しているネットショッピングモール「まなびや」の生徒スタッフにも応援してもらいました。

4 教科商業科での観光の位置づけ

本大会では文部科学省初等中等教育局児童生徒課産業教育振興室 教科調査官の西村修一先生に初めて出席いただきました。地方創生、観光立国等、国の政策と関連付けた教科商業科の取り組み、観光教育の現状と成果、そして課題と方向性について話していただきました。高校の観光教育を指導している大半が商業科の先生のため、教科商業科における観光教育の展開の仕方や可能性について、体系的に話していただいたことは、大変参考になりました。

現在、商業に関する学科としては全国で8つの高校に、観光に関連する学科が設置されています。また、商業に関する学科の中に、観光に関連するコースを設けている学校や総合学科の中に、観光系列を持っている学校があります。更には学科、コースは持っていないが、商業に関する学科の中に、学校設定科目として観光関連の科目を設定している学校も多いようです。

教科商業科での観光の位置づけはどうかといいますが、学習指導要領とその解説書では、「経済社会の動向を踏まえてビジネスの機会を捉え、地域産業の振興策の創造と実施、それをとおして経

済社会の発展に取り組む」となっています。つまり、教科商業科では「ビジネス探求能力を育成する」としています。観光地においては、「地域産業の振興策の創造と実施」とは、観光産業の振興策の創造と実施ということになります。「課題研究」という科目では、産業構造の変化や経済の国際化、観光や地域産業の振興に関する内容を主とした調査や研究などを行うことが考えられます。「ビジネス経済応用」の科目では、地域ビジネス事情という内容が入っていて、身近な地域のビジネスの動向やビジネスに役立つ資源（観光資源といえる）について調査や研究を行わせることができます。「ビジネス実務」の科目では、ビジネス英語を指導することになっていきますので、観光というものを強く意識したビジネス英語を展開することができます。「ビジネス基礎」・「ビジネス実務」の科目では、ビジネスマナーを取り扱うことになっていますので、ここでも観光地におけるビジネスマナーという取り上げ方もできます。「広告と販売促進」の科目では、地域産業振興のためにPOP作成、PR活動など情報発信のお手伝いをしたりして地域理解を深めたりすることができます。また、ここでは接客も扱います。ここで扱うホスピタリティは観光につながります。「商品開発」の科目についても観光教育につなげて共同開発をしたりして授業を展開することも考えられます。このように、商業科の科目においても観光教育を展開することが十分可能になっています。

5 専門性の深化と学びの流れ

高校における観光も含めた商業教育は、実学を標榜しています。実学だからこそ、ビジネスで必要となる実践的な働く力を身につけさせる必要があります。実学という視点からは、社会で活用できる力が身につけていることが、専門性が高いということになります。そのためには、学びの手順が重要となります。

まず、①知識・技術をしっかり身に付けさせる。知識・技術がなければ、社会に出てから活躍できる人材にはなり得ません。その上で、②実際のビジネスを理解させることが必要になってきます。観光ビジネスを理解させるためには、具体的な事例を取り上げ考察し討議することで理解を深めさせる。討論の手法としては、ケースメソッド、ワールドカフェ、ディベートも有効です。ここでは、多面的なものの

見方・考え方を養うことが重要になります。相手の考えをしっかりと聞いて、自分の考えを筋道立てて、相手に説明するという力の育成につながっていきます。その後、③**企画力や創造力を養っていく必要があります**。実際には商品開発をおこなうとか、商品パッケージを開発するとか、観光プランを考案するとかして、企画力や創造力を養う必要があります。これも①②を抜きにして、いきなり商品開発、観光プランをおこなったとしても、それは専門性の高いものにはなりません。職業教育・専門教育というのであれば、①②を踏まえて③をもっていく必要があります。最後に、④**実社会で実践する力を磨いていくということになります**。実際に地域に出て販売実習をすることで力を磨いていく必要があります。例えば、観光プランを考えて実際に自分がガイド役になって試行してみる必要があります。そういう流れの中で、資格取得に取り組ませるとか、競技会等に出場させるとかも有効な方法です。このような学びの流れをしっかりと踏まえることが、専門性の深化につながります。

6 ワールドカフェ方式

ワールドカフェ方式は、オープンで自由な会話を通して生き活きとした意見の交換がおこなわれ、新たな発想の誕生が期待できるという考え方に基づいた、話し合いの手法です。ワールドカフェ方式のパネルディスカッション・対話会は、各パネリストの講話内容をもとに参加者で対話し、情報共有し合う全員参加型にしてみました。

【準備】

- A) 主催者がコーディネーターへ、この対話会で展開してもらいたい内容をしっかり伝えることが重要だと思いました。
- B) 講演者を含めた参加者全員を対象にした4人一組の座席表作成（生徒1名含む）をします。
- C) 4人一組のテーブル20台と、テーブル1台につき模造紙1枚、マジック1セット（7本入）、カラーのA4用紙4枚、付箋紙、はさみ、3種類の菓子が入った菓子袋4個を準備します。
- D) カフェでお茶している雰囲気を演出するために、お茶やコーヒーをサービスして、おもてなしをする生徒11名を準備します。



【進め方】

- A) 司会よりコーディネーターとパネリスト3名の紹介をします。（3分）
- B) コーディネーターより、この対話会のテーマ「インバウンドを意識した地域連携と人づくり」の説明と、ワールドカフェ方式と、机上の道具の利用法について説明します。（7分）
- C) パネリスト①「街づくりについての現状と展望」の講話をします。（15分）
- D) 各テーブル毎に、自己紹介と講話についての感想を述べます。（5分）
- E) パネリスト②「嬉野温泉と訪日旅行促進事業について」の講話をします。（15分）
- F) 各テーブル毎に、講話についての感想・まとめをおこない、模造紙にメモをします。（5分）
- G) パネリスト③「高等学校における観光教育の実践」の講話、および各学校でおこなっている地域連携や今後必要とされる地域連携についての問題提起をおこない、模造紙にメモをします。（15分）
- H) 各テーブル毎に、講話についてのまとめ・感想と、課題提起についての意見交換をし、模造紙にメモをします。（5分）



- I) コーディネーターよりこの対話会の趣旨説明をおこない、「対話＝聴く×話す」で成り立っており、話すときは未来会議の三カ条「未来を語る・人を褒める・断定しない」などを前提に話すよう

に促します。(10分)

J) ラウンド1

コーディネーターより「これからの観光教育はどのような『ワクワク』を地域社会に生み出すことができるでしょうか?」の問題提起が発表され、パネリストの講話を通して対話会をおこないます。対話の中で、相手の話した内容や自分の感想・アイデアを模造紙に記入することと、テーブルでの対話内容を全体に発表することはしないので、安心して話し合うことを付け加えます。(20分)

K) ラウンド2

各テーブルに1人だけ残り、他の人は一斉に他のテーブルへ移動します。テーブルにある模造紙に記入されているものを見て、別のテーブルの対話の内容を記入して対話を続けます。お互いの情報を共有し、新たな情報・アイデアを記入します。(20分)



L) ラウンド3

元のテーブルに戻り、ラウンド2で得た内容を記入したり、話し合って新たな情報・アイデアを共有します。(10分)

M) コーディネーターより「ラウンド1～3を経て『そのためにこれからあなたが踏み出したい第一歩は何でしょうか?』と問題提起します。各人が考えたことをカラーのA4用紙に記入し、テーブルごとに内容、理由などを説明します。(10分)



N) 他のテーブルのA4用紙や模造紙への書き込みを見て回ります。(5分)

O) 元のテーブルに戻り、今回の感想を語り合います。(3分)

P) パネリスト、基調講演者より一言感想を述べてもらい、最後にコーディネーターにより閉会します。(7分)

【成果物展示】

この対話会で利用した模造紙(記録やメモ)やまとめの時に記入したカラーのA4用紙を運営係で整理して翌日会場に掲示して、参加者全員が情報の共有ができるようにします。



7 おわりに

この大会を機に、再来年度の主管校を内諾いただいたり、協議会への加盟を決めていただいたりした学校が出てきました。本大会では「ワールドカフェ方式のパネルディスカッション・対話会」をメインに据えたことで、大会を成功に持っていくことができました。出席された先生方の考え方が、ワールドカフェ方式で自由に意見交換ができ、観光教育は今後どうあるべきか、どういう方向でもっていったほうがいいのかという方向性が定まったのではないのでしょうか。

本校においては運営スタッフ、参加者として参加した生徒の成長に驚かされました。生徒の満面の笑みでもてなしと自信に満ちた意見発表の姿は、観光教育の指導成果の一端を示すことができたのではないかと自負しています。

今後とも観光教育に携わる先生方のますますの活躍を期待いたします。

実教 Web ページ (<http://www.jikkyo.co.jp/>) で 教材のダウンロードデータを用意しています。

商品開発

- ◎ケーススタディ例 (Excel)
 - ◎ケーススタディプリント (PDF) 6種類
 - ◎確認テスト (Word) 12回分
 - ◎評価テスト (Word) 6回分
- ※解答は Web ページにございませんので、
お問い合わせください。

広告と販売促進

- ◎確認テスト (Word) 17回分
 - ◎評価テスト (Word) 6回分
- ※解答は Web ページにございませんので、
お問い合わせください。

ビジネス情報

- ◎4章・5章のデータベース実習用データ (Access)

財務会計Ⅱ

- ◎確認テスト (Word) 14回分
- ※教授用指導書掲載のものと同じものです。
解答は教授用指導書をご覧ください。

管理会計

- ◎章末練習問題解答用紙 (PDF)
 - ◎全商会計実務検定試験模擬問題・解答用紙・解説 (PDF)
 - ◎確認テスト (Word) 8回分
- ※教授用指導書掲載のものと同じものです。
解答は教授用指導書をご覧ください。

商品開発 確認テスト 第1回
第1章1節 商品の多様化 (P.10~21)

年	組	番	得	点
名				
前				1.5 (時評)

【1】 次の文の内容が正しいか誤りか、○をつけてください。

- (1) 消費者の対象となる生産物を商品といい、買物を伴うとする売上の総和になると、生産物は一般商品としての性質を失うことになる。
- (2) デジタルカメラの商品個性を大きくしたり、価格を向上せよとしたりするのは、商品個性の観点では、既存商品の市場の競争に有利である。
- (3) デザイン、アニメ、ファッション、映画など、近年日本の文化が海外で高い人気を得ており、海外に向けて発信されている。
- (4) 消費者調査長期の白紙では、ものを所有することが豊かさの象徴であったが、その代表者が「三種の神器」「3K」といった商品である。
- (5) 企業が商品を開発して生産・販売している期間は、そのプロセスの中で、地域環境に配慮するという意味の工夫や、CO2削減を必要とされなければならない時代となった。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
-----	-----	-----	-----	-----

【2】 次の文の () にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 人々が買物を求めるために自分の得意とするものを手分けして生産することを () といふ。その結果、生産者、消費者、消費者といった関係が形成された。
- (2) () は経済活動により新しい市場を生み出し、経済活動を活発にさせていくことである。
- (3) () は親世代の人々の文化や習慣、流、消費、宗教上の戒律といった社会的なルールを尊重することであり、経済活動の発展を必要としない。
- (4) 生活スタイルが多様化しサービスが充実すると、結果として産業構造の比率は第二次産業から () に変化する。
- (5) ()、つまり企業は一市民なので、市民レベルで社会貢献活動に取り組みなど、地域の発展に貢献しなければならぬ。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
-----	-----	-----	-----	-----

【3】 次の文の欄に、正しいものを欄頭から欄尻の順序で答えなさい。

- (1) 生産者から消費者へ、初めて運ばれたものはその商品の
 - ア. 最終品 イ. 物々交換 ウ. 買物を伴うとする経済
- (2) 原料としての水素を溶媒としての高純度の酸素として商品化したのは、商品個性のどの観点に分類できるか。
 - ア. 製品の個性 イ. 販売方法の個性 ウ. 既存商品の市場の個性
- (3) 1990年代から2000年代まで、わが国の総輸出は入庫の総額ほどのような状況か。
 - ア. 輸入より輸出が多い イ. 輸出と輸入は同額 ウ. 輸出より輸入が多い
- (4) 消費の二酸化炭素の削減はどれか。
 - ア. 所有することによって消費行動 イ. 所有することと使用することを併用する消費行動
 - ウ. これ以外の削減は消費で、それ以外は設備で減らす消費行動
- (5) クリーン・コンシューマリズムを推進した経緯はどれか。
 - ア. 燃焼機での削減 イ. 燃焼機以外の削減 ウ. 資源エネルギー消費の削減

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
-----	-----	-----	-----	-----

確認テスト

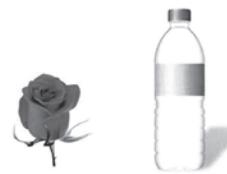
< 香る飲料 >

あなたは、花のアロマを使った飲料を開発することに成功しました。味はほのかに風味がつけたいという思いで、お出し出来上がったのですが、何よりもこの商品は飲んで1時間後から、その花の香りが体の皮膚から放出されるといふ今までにない新商品です。まずは、バラから発売します。

500mlのペットボトルで販売したいと思います。あなたならいくらで販売しますか？

ちなみに原価は1本 60 円 工場を運ぶのに 100 万円かかります。来年1年で3万本の販売を予定しています。

□ 円



ケーススタディプリント

どうぞご活用ください